

# 篆 刻 研 究

## 篆刻研究

佐藤 焯 水

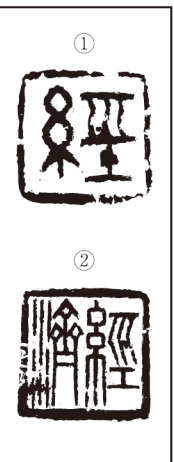
今月の課題は「経」または「経済」とする。

篆刻作品の課題が「経済」とは、なんと無粋と言われる方も多いと思ふ。

この語は多くの故事熟語が中国から渡来する中、数少ない日本生まれの熟語であり、また中国へ逆輸出した言葉でもある。

「経済」という語は「経世済民」すなわち「世を<sup>おさ</sup>りて民を<sup>すく</sup>う」という四字熟語から生まれた明治生まれの言葉である。

一方、当時の中国ではエコノミーを「資産が増える」という意の「資生」と訳したらしい。この方が本来の意に近いが、小生は明治の先賢がエコノミーを「資生」と訳さずに「経済」としたこと、志の高さを感じる。



今月の参考手本①は「経」を金文朱文で、②は小篆朱文で「経済」を刻してみた。



凜とした線と均整のとれた佳作。

線に味がある。終刀に一考を。

まじめな作、押印は丁寧。

【出品規定】しめきり：六月十七日

- ①印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由です。楕円・長方形等も可）
- ②印影を白の半紙1/4に押印し、右側に条幅出品券を貼ってください。
- ③応募資格に特に制限はありません。
- ④課題文字以外の随意作品も出品できます。